

下呂市公園整備計画(バランス期) ～第2ステージ 暑さ対策編～



令和7年3月
下呂市



目次

第1章 はじめに	1
1-1 背景	
1-2 公園緑地整備検討協議会	
1-3 下呂市公園整備計画(子ども期)～第1ステージ 遊具整備編～	
1-4 下呂市公園整備計画(バランス期)～第2ステージ 多様な活用編～	
第2章 前計画からの引き継ぎ事項	5
2-1 前計画からの引き継ぎ	
2-2 公園整備の方針(第2ステージ第2章2-2)	
2-3 整備の時期(第2ステージ第3章3-6)	
2-4 公園整備の時期(第2ステージ第4章4-5)	
第3章 事業計画案の変更	6
3-1 公園整備の方針に暑さ対策を追加	
3-2 ふれあいパーク(金山)の遊具整備	
3-3 縄文公園(下呂)の遊具整備	
第4章 公園の暑さ対策	10
4-1 公園整備の方針(再掲)	
4-2 【緊急課題】公園の熱中症対策	
4-3 公園における暑さの課題	
4-4 熱中症予防運動指針	
4-5 公園における熱中症防止の具体策	
4-6 公園の熱中症対策整備	
4-7 整備の時期	
4-8 暑さ対策についての協議の過程	
第5章 計画の引き継ぎ	14
5-1 計画内容の引き継ぎについて	
委員名簿	15

第1章 はじめに

1-1 背景

公園・緑地は、地域に活力とゆとりを与える潤いのある場であるとともに、災害時の避難場所など、多様な面において生活を支える重要な施設です。下呂市の公園は、市町村合併前に整備された施設が殆どで、当時の社会状況やニーズにより様々な形で整備されました。

しかしながら公園整備とその在り方については、設置の目的や活用の多様性についての再検討や市役所内の横断的な取り組みなども行われることなく、施設の維持と補修のみがおこなわれてきたのが実情です。また、古くなった遊具や設備は安全性という視点から使用禁止または撤去となり、公園整備後の機能は年々低下しています。

こうした中で、市民からの公園整備に関する期待は高く、とりわけ子育て世代の潜在ニーズは非常に高いものとなっており、少子化や超高齢化社会を迎えた地域が広範囲に点在する本市において、現状の公共空間である公園の整備と活用について検討していくことは、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」にも呼応する急務な取り組みとなっています。

1-2 公園緑地整備検討協議会

下呂市では、市内の公園の総合的な整備に関して必要な事項を協議するために、令和4年度に公園緑地整備検討協議会を設置し、公園整備の検討段階を3つのステージに分類しました。

令和4年度の公園緑地整備検討協議会（以下「第1期協議会」という。）は「下呂市公園整備計画（子ども期）～第1ステージ遊具整備編～」を策定し、令和5年度と同協議会（以下「第2期協議会」という。）は「下呂市公園整備計画（バランス期）～第2ステージ多様な活用編～」を策定しました。

なお、令和6年度と同協議会（以下「第3期協議会」という。）は、第3ステージ地域期について協議を予定しておりましたが、気候変動による公園の暑さ対策が緊急課題であることから、第2ステージ続編として「下呂市公園整備計画（バランス期）～第2ステージ暑さ対策編～」を策定しました。

■公園緑地整備検討段階の分類

第1段階 子育て期	急速に少子化が進行する中でより早く拠点公園に関するニーズや意見を集約し早期に対応するため子育て世代を中心とする。
第2段階 バランス期	拠点公園の公共空間としての多様性を加味した形で様々な形で意見が聞けるようにする。
第3段階 地域期	地域公園を中心とした検討をするため地域を中心に話し合いが出来る仕組みにする。

■公園の利用区分

拠点公園		地域公園
中核公園	地区公園	
利用区分が下呂市全体の中核公園	利用区分が旧町村(地区)単位の公園	利用区分が学校区、自治会単位の公園・広場

1-3 下呂市公園整備計画(子ども期)～第1ステージ 遊具整備編～

令和4年度の第1期協議会では、第1ステージの子育て世代のための遊び場の充実にあたり、

①遊具の整備を行う拠点公園の決定(各地区またはエリアで1つ)

②整備する遊具の種類や規模等の決定

について、市内各こども園の保護者アンケートの結果に基づいて協議しました。

「①遊具の整備を行う拠点公園」については、下記のとおり決定しました。

■拠点公園

拠点公園	
中核公園	地区公園
利用区分が下呂市全体の公園	利用区分が旧町村(地区)単位の公園
・飛騨川公園(萩原地区公園を兼ねる)	・大島きこり公園(小坂地区) ・縄文公園(下呂地区) ・ふれあいパーク(金山地区) ・馬瀬わかあゆ保育ST(馬瀬地区)

「②整備する遊具の種類や規模等」については、同アンケートの自由意見等を参考に6歳～12歳用の遊具を基本とし、地区のニーズに合わせて幼児用遊具の設置についても可能であるとしてしました。

遊具の仕様については、下呂市第二次総合計画に「誰もが安心して暮らせる社会をつくる」と明記されていることから、障がいの有無に関わらず「誰もが遊べる」という視点を重要視した遊具を整備することで、子育て世代を総合的に応援することにしました。

誰もが遊べる遊具(インクルーシブな遊具)

インクルーシブは包摂(ほうせつ)的などという意味でSDGs目標の目標4, 8, 9, 11, 16でも使用されています。簡単にいえば「みんな一緒」という意味です。これからの社会の形として、最近、多くの場面で使用されるキーワードです。

そして、下呂市では、誰もが簡単に安全で使い勝手がよく楽しめる遊具整備を実施するため、次の5つの性質を整備する遊具に求めることにしました。

1. 公平性 誰でも利用できる
2. 簡便性 使用方法が簡単で分かりやすい
3. 安全性 事故などの心配が無い
4. 機能性 使う上で楽に使いえたり様々な機能的要素が高い
5. 快適性 使いやすさと空間の確保



■令和5年度【飛騨川公園の遊具整備】

令和5年度の第2期協議会では、飛騨川公園に整備するインクルーシブ大型複合遊具について協議し、幅広い年齢層に対応した幼児用複合遊具と乳幼児用遊具を設置することを決定、遊具メーカーの提案書を審査して、下呂市に選定事業者の提案を行いました。

【飛騨川公園】

下呂市萩原町上呂2250 番地1

飛騨川公園は、萩原町上呂にある広さ7万平方メートルの大型河川敷公園です。サッカーグラウンドをはじめテニスコート、グラウンド・ゴルフコース、サイクリングコースが整備された下呂市を代表する公園です。花の名所としても知られ、特に春は桜をはじめ花の数が多くお勧めです。

芝生広場はインクルーシブ大型複合遊具をはじめ子どもの年齢に合わせた遊具やベンチがあります。

【飛騨川公園の遊具の整備方針】

幅広い年齢層に向けた公園の子育て支援機能を強化するため、6歳～12歳向けの児童用複合遊具の整備にあわせ、3歳～6歳向けの幼児用複合遊具及び0歳～3歳向け遊具の整備を行いました。

【飛騨川公園の遊具オープン】

インクルーシブ大型複合遊具は、令和6年3月下旬に完成検査を行って春休みにあわせてプレオープンし、令和6年4月6日に市制施行20周年記念行事としてオープニングセレモニーを開催しました。



オープニングセレモニー



大型遊具で遊ぶ子どもたち



遊具イメージ図



飛騨川公園大型遊具パース

1-4 下呂市公園整備計画(バランス期)～第2ステージ 多様な活用編～

令和5年度の第2期協議会では、第2ステージのバランス期における幅広い世代の多様な公園活用について、市内各地域でアンケートやワークショップを開催しました。

幅広い世代の市民が公園に愛着を持って積極的に関わり、多様な利用によって市民の生活の質が向上することで、下呂市が市民に選ばれる、住み続けられるまちにするための仕掛けをまとめました。

【公園が持つ生活の質の向上効果(国土交通省)】

1. 環境維持・改善効果・・・生物多様性の確保、ヒートアイランドの解消等の環境改善をもたらす効果。
2. 健康・レクリエーション空間の提供効果・・・健康運動、レクリエーション等の心身の健康増進効果。
3. 景観形成効果・・・季節感を享受できる景観の提供、良好な街並みの形成効果。
4. 文化伝承効果・・・地域の文化を伝承、発信する効果。
5. 子育て・教育効果・・・子どもの健全な育成の場を提供する効果。
6. コミュニティ形成効果・・・地域のコミュニティ活動の拠点となる場、市民参画の場を提供する効果。

(1)公園に人が集まるしくみをつくる

【公園活性化のしくみづくり】

- ・公園での健康づくりや各種イベントに参加した方には、スマートフォン等で市の「健康ポイント」を付与するなど、公園に集まるための仕掛けをつくり、市民のコミュニティ参加を促進します。

【カフェ・マルシェ・イベントによる公園への集客】

- ・公園内におけるカフェやキッチンカーの営業、マルシェやイベント等の利用ノウハウをまとめてマニュアル化し、公園を活用して、食による様々な人の交流が広がる場をつくります。

【情報発信】

- ・SNS等を活用した小さくても魅力的な情報発信によって「公園で何やら面白いことが起きているらしい」との情報が市民に共有されていくことを狙います。

(2)公園で快適に過ごす環境をつくる

【公園の施設管理】

- ・日陰となる休憩所、ベンチ、ミスト装置等の暑さ対策設備を整備します。
- ・市部局がばらばらに管理している公園とその施設設備について一元化した台帳を作成し、公園管理計画を策定して、整備から管理運営、老朽化した施設の改修・廃止までの一貫した管理を行います。

【公園サポーターの活用】

- ・公園利用者の市民や地域団体等が市民有志として公園運営や管理に関わる仕組みをつくり、その活動に対して「健康ポイント」等の付与を行うなど、市民の公園運営への積極的な参加を促します。

【民間事業者との連携】

- ・公園にカフェ等を出店する事業者からの使用料のほか、公園内への有料広告の設置による新たな収入源の創出、企業版ふるさと納税等の民間事業者からの収入を公園管理に活用することを検討します。

第2章 前計画からの引き継ぎ事項

2-1 前計画からの引き継ぎ

「下呂市公園整備計画（バランス期）～第2ステージ多様な活用編～」において策定された計画は、第3期協議会に引き継がれています。ただし、引き継がれる内容は2-2公園整備の方針、3-6整備の時期及び4-5公園設備の整備とされています。

そのうち、第3期協議会の協議により変更された内容は、第3章「事業計画の変更」に記載します。

2-2 公園整備の方針(第2ステージ第2章 2-2)

公園整備に向けて公園緑地整備検討委員会としては、次の方針を進めます。

1. 人口減少社会を迎えるなかで、「持続可能」な公園整備を目指す。
2. 子育て世代のための遊び場を充実する。(遊具の整備)
3. 地域バランスを確保する。
4. 地域公園の整備の方向性を示す。(管理方法や制度の検討)

2-3 整備の時期(第2ステージ第3章 3-6)

遊具整備の時期は下表(事業計画案)の令和5年度から令和7年度までの3年間を計画期間とします。また、整備時期については状況に応じて臨機応変に対応することとします。

【事業計画案】

内訳	R5	R6	R7
公園名 (エリア)	飛騨川公園 (萩原)	ふれあいパーク (金山)	縄文公園 (下呂)
事業費	60,423 千円	25,429 千円	10,014 千円
国県支出金	10,000 千円		
一般財源	50,423 千円	25,429 千円	10,014 千円

※財源はふるさと納税を原資とした基金を使用する。

※大島きこり公園(小坂)及び馬瀬わかあゆ子育て・保育ステーション(馬瀬)の遊具整備は実施せず、整備時期について再度検討を行う。

2-4 公園設備の整備(第2ステージ第4章 4-5)

飛騨川公園(萩原)及びふれあいパーク(金山)の公園整備については、本計画で実施します。

その他の地域の拠点公園については、必要に応じて、予算の範囲内での整備を引き続き検討します。

第3章 事業計画の変更

3-1 公園整備の方針に暑さ対策を追加

令和6年度の第3期協議会では、本来ならば第3ステージ地域期の計画策定を予定していました。

しかしながら、気候変動の影響によって夏場の公園は熱中症の危険性が高くなっており、年間を通して公園で快適にすごせる期間も短くなっていることから、令和6年度では公園の暑さ対策を緊急課題として、公園整備方針に「暑さ対策」を追加するとともに「下呂市公園整備計画（バランス期）～第2ステージ暑さ対策編～」を策定することにしました。

なお、第3ステージ地域期の協議と計画策定は令和7年度に延期します。

■公園整備の方針

公園整備に向けて公園緑地整備検討委員会としては、次の方針で進めます。

1. 人口減少社会を迎えるなかで、「持続可能」な公園整備を目指す。
2. 子育て世代のための遊び場を充実する。(遊具の整備)
3. 地域バランスを確保する。
4. 暑さ対策を実施する。(暑さに適応した施設整備)
5. 地域公園の整備の方向性を示す。(管理方法や制度の検討)

■公園整備計画に「暑さ対策編」を追加

令和6年度の第3期協議会では、公園の熱中症対策として第2ステージに「下呂市公園整備計画（バランス期）～第2ステージ暑さ対策編～」を追加します。

■公園整備計画第3ステージ「地域期」を令和7年度に延期

令和6年度の第3期協議会では、第3ステージ「地域期」として、地域公園といわれる小公園や広場等を地域主体で整備・管理する方法について計画策定する予定でしたが、令和7年度に延期します。

それに伴い、当初は第3期協議会で終了を予定していた下呂市公園緑地整備検討協議会は、令和7年度の第4期協議会（仮）まで1年間延長します。

【地域公園マネジメントの仕組みの構築】

- ・自治会やボランティアなど、さまざまな組織や団体が参画しやすい環境づくり。
- ・市民と行政をつなぐ人材の活用。

【地域公園マネジメントのルールづくり】

- ・地域公園の管理ルールの検討。
- ・公園を含めた地域全体のエリアマネジメントへの展開。

【民間活力導入の推進】

- ・民間事業者等が公園でカフェ等の収益事業を実施し、利益の一部を公園管理に還元する仕組み。
- ・公園管理へのネーミングライツ、広告、寄附、PFI、エリアマネジメント等の検討。

3-2 ふれあいパーク(金山)の遊具整備

第1ステージでは、子育て期の遊具整備について令和5年度から3年間の事業計画案が立てられ、そのうち、令和6年度事業として金山地域のふれあいパークに遊具整備を予定しています。

前年度の飛騨川公園の遊具整備では、第2期協議会による複数の遊具メーカー提案の審査を行いました。金山地域では子育て世代を中心にワークショップ等でふれあいパークの整備内容が話し合われていますので、第3期協議会としては地元の話し合いを尊重します。

【金山リバーサイドスタジアム(ふれあいパーク)】

下呂市金山町金山911番地1(公園は、金山1631番地1)

ふれあいパークは、金山リバーサイドスタジアム周辺に整備された公園です。比較的アクセスも良く、道の駅「飛騨金山ぬく森の里温泉」のエリアに位置することから子どもたちの遊び場となっています。

以前は、夏場の水遊び場としてミニプールなど多くの方が利用されていましたが、老朽化等により現在は使用できなくなっています。施設利用者からは、遊具整備だけでなく子どもの遊び場として全体的な整備が期待されています。

＜金山地域ワークショップ等の開催＞

- ①令和6年6月14日・・・金山コミュニティスクール(未来カナ会議)
- ②令和6年6月24日・・・金山子育て支援センター
- ③令和6年7月3日・・・地元協議
- ④令和6年8月26日・・・金山地域説明会
- ⑤令和6年9月18日・・・金山こども園
- ⑥令和6年11月26日・・・地元協議

＜金山地域ワークショップ等での地元意見＞

- ・噴水がある水遊び場ができないか → 「ミスト装置付き中型複合遊具」の整備につながる。
- ・遊具全体を覆う日除けができないか → 「ミスト装置付き休憩施設」の整備につながる。
- ・小さな幼児が遊べるスペースがほしい → 「幼児用ベーシック遊具」の整備につながる。
- ・中学生向けに3on3バスケットなど、幅広い世代が使える施設整備があるとよい。
- ・高齢者向けに、健康器具やサニーランドの入居者が散歩できる施設整備をしてほしい。
- ・駐車場に飛び出さないような安全対策、広場を走り回れるように木の根等を処理してほしい。
- ・公園施設の維持管理だけでなく、積極的に活用を進めてくれる公園運営者を考えてほしい。
- ・広場の整備や活用について、今後も子育て世代を中心とした協議を継続してほしい。

【ふれあいパークの新整備方針】

- ①ミニプールを撤去して、ミスト装置付き中型遊具を整備します。
- ②既存休憩施設にもミスト装置を整備します。
- ③ベーシックな幼児用遊具を整備します。
- ④老朽化した和式トイレを撤去し、公園駐車場に洋式バリアフリートイレを整備します。

3-3 縄文公園(下呂)の遊具整備

第1ステージでは、下呂地区の拠点公園を縄文公園に定め、その遊具整備を令和7年度の事業に位置づけていますが、第2期協議会においても拠点公園の設定自体に異論があつて決まりませんでした。

そこで、第3期協議会では、令和7年度の縄文公園遊具整備の方針を見送り、慎重に再検討します。

【縄文公園】

下呂市森 1808 番地37

縄文公園は、下呂市ふるさと歴史記念館に隣接する公園です。この公園は、史跡公園として市民に親しまれています。公園内には、縄文時代、弥生時代の竪穴住居跡が復元されています。公園内には芝生の広場などもあります。

過去にはアスレチックや遊具などもありましたが、現在は老朽化により殆どが撤去されています。縄文公園は、トイレや駐車場もあり、竹原からのアクセスも良い施設です。下呂地区の公園には遊具が無いので遊び場の整備について期待されています。

【下呂地域の拠点公園の検討】

子育て世代が集まる公園は市街地にあつた方がよいとの意見がありますが、砂防指定地や河川敷といった構造物設置の制限、また「ふれあい広場」は補助金上の制限があり難しいと考えられます。

縄文公園については、遺跡のエリアでも盛土部分であれば遊具整備が可能ですが、市街地から遠いという声が根強くあり、遊具整備場所としては多くの方の賛同を得られる場所ではありません。

一方、下呂地域では「公園整備＝遊具整備」と捉えられており、観光地として、子ども連れの観光客の利用を考えた場合には、季節や天候を問わず利用できる屋内遊技場を民間の有料施設として誘致することでも目的が達せられるのではないかと考えられます。

【下呂地域の拠点公園の整備方針】

下呂地区は人口も多く、子ども連れの観光客等の利用も考えられることから遊具整備の優先度が高いエリアですが、拠点公園の選定に時間を要しているため、令和8年度以降に整備時期を見直します。

3-4 整備の時期

遊具整備の整備時期については、下呂地域の拠点公園の整備を令和8年度以降に延期するほか、第4章の暑さ対策整備を踏まえて臨機応変に対応することとします。

第4章 公園の暑さ対策

4-1 公園整備の方針(再掲)

令和6年度の第3期協議会では、公園整備方針に追加した「4.暑さ対策を実施する(暑さに適応した施設整備)」について、公園における熱中症対策と暑さに適応した公園整備を検討しました。

1. 人口減少社会を迎えるなかで、「持続可能」な公園整備を目指す。
2. 子育て世代のための遊び場を充実する。(遊具の整備)
3. 地域バランスを確保する。
4. 暑さ対策を実施する。(暑さに適応した施設整備)
5. 地域公園の整備の方向性を示す。(管理方法や制度の検討)

4-2 【緊急課題】 公園の熱中症対策

気候変動の影響によって夏場の公園は熱中症の危険性が高くなっており、年間を通して公園で快適にすごせる期間も短くなっています。特に直射日光に晒された公園遊具では遊べないほど暑さが厳しいことから、公園での熱中症対策として、4つの観点が必要だと考えます。

【熱中症対策の4つの観点】

- ① 熱中症の危険性を知らせる
- ② 熱中症になることを防ぐ
- ③ 熱中症の重症化を防ぐ
- ④ 暑さに適応した公園にする

4-3 公園における暑さの課題

キーワード	内容
夏日の増加	下呂市で4月に気温 30℃を超える夏日が出現するなど、公園で快適に遊べる期間が短くなります。
遊具の表面温度	スチール製遊具の表面温度は 60℃(ブランコ)～70℃(すべり台)に達して遊べません。
暑さ指数(WBGT)	環境省が気温・湿度等の組合せで指数を発表し、市内に萩原・宮地・金山の3観測点があります。
熱中症特別警戒情報	熱中症特別警戒情報(暑さ指数 35 以上)は災害級の暑さであり、公園は使用中止します。
熱中症予防運動指針	暑さ指数 31 以上は屋外にいたることが危険な状態で、涼しい室内に移動が必要になります。
クーリングシェルター	冷房設備のある室内を「クーリングシェルター」として暑さから避難する場所に指定します。

4-4 熱中症予防運動指針

環境省熱中症予防情報サイトが公表する暑さ指数(WBGT)に応じた熱中症予防運動指針(日本スポーツ協会)、外出等の指針(日本生気象協会)の基準があります。下呂市では、これらを参考に、公園の使用基準について以下のとおりまとめます。

暑さ指数(WBGT)による基準域	活動の目安	熱中症予防運動指針 (日本スポーツ協会)	外出等の指針 (日本生気象協会)
熱中症特別警戒情報 暑さ指数35以上	全ての生活活動で熱中症が起きる危険性あり	運動の中止	公園等の施設を使用中止
熱中症警戒情報 暑さ指数33以上			公園等の使用中止を推奨
危険 暑さ指数31以上		運動は原則中止	外出を避けて室内に避難
嚴重警戒 暑さ指数28以上31未満		激しい運動は中止	炎天下の外出を避ける
警戒 暑さ指数25以上28未満	中程度以上の生活活動で熱中症の危険性あり	積極的に休憩する	運動には十分な休憩を
注意 暑さ指数25未満	強い生活活動で熱中症が起きる危険性あり	積極的に水分を補給	激しい運動に注意する

環境省熱中症予防情報サイト <https://www.wbgt.env.go.jp>

4-5 公園における熱中症防止の具体策

項目	熱中症対策の4つの観点	内容
公園の暑さ対策	熱中症の危険を知らせる	公園管理者がホームページや屋外掲示等により、利用者に暑さ指数(WBGT)を周知する。
	熱中症を防ぐ	公園にミスト設備や日陰の休憩所等を整備する。
	熱中症の重症化を防ぐ	冷房設備のある管理棟をクーリングシェルターとして開放し、熱中症の方を休ませる。
暑さに適応した公園整備	暑さに適応する	水遊び場を整備し、夏場の遊び方を通常遊具から水遊びにシフトさせる。
	全天候に対応する	屋内遊技場を整備して、夏冬や雨天時でも遊べる場所をつくる。

※公園での熱中症防止対策については、基本的に管理人がいる拠点公園(飛騨川公園、ふれあいパーク、下呂地域の公園)を対象とします。

4-6 公園の熱中症対策整備

【金山リバーサイドスタジアム(ふれあいパーク)】

下呂市金山町金山911番地1(公園は、金山1631番地1)

◎コンセプト「暑くても楽しいミスト遊具の公園」

- ・令和6年度のふれあいパーク整備の一環として整備を行います。(前掲)
- ・ミニプールを撤去して、ミスト付き中型複合遊具と休憩施設を整備します。
- ・秋～夏には通常の遊具として遊ぶことができ、1年中楽しめる公園になります。
- ・計画変更部分に関しては、ガバメントクラウドファンディング(GCF)で寄附金を募ります。

【飛騨川公園】

下呂市萩原町上呂2250番地1

◎コンセプト「大型遊具と親水遊具を暑さで使い分ける公園」

- ・令和7年度に公園の暑さ対策整備として実施を検討します。
- ・ベンチにミスト装置を備えた屋根付き休憩所を整備します。(令和6年度にミスト装置を試験運用)
- ・新たに床噴水・ポップアップ噴水等を備えた水遊び場(水景)を整備し、夏場には大型遊具から水遊びに遊び方をシフトします。

※既存の大型モニュメント噴水はロータリー内にあり、子どもの飛び出しによる車両事故のおそれがあることから、新たに水遊び場を設けるもの。



ミスト付き休憩所のイメージ



水遊び場(水景)イメージ

【下呂地域の公園】

公共施設・民間の空き施設等を想定(場所は未定)

◎コンセプト「全天候型で一年中いつでも遊べる公園」

- ・下呂地域の拠点公園を縄文公園から変更し、令和8年度以降に整備をめざします。
- ・公共施設・民間の空き施設等を活用して、屋内型遊技場(屋内公園)を整備します。
- ・家族連れの観光客利用を想定して、民間有料施設(市民には優待制度等に対応)も検討します。

※整備場所を含めて詳細は未定。

4-7 整備の時期

【事業計画案】

内訳	R5	R6	R8以降	R8以降
公園名 (エリア)	飛騨川公園 (萩原)	ふれあいパーク (金山)	飛騨川公園 (萩原)	屋内遊技場 (下呂)
事業費	60,423 千円	48,429 千円	50,295 千円	未定
国県支出金	10,000 千円			
一般財源	50,423 千円	48,429 千円	50,295 千円	未定

※財源はふるさと納税を原資とした基金を使用する。

※ふれあいパークの令和6年度事業費は12月補正予算に計上し、ガバメントクラウドファンディング（GCF）を実施して充当する。

※飛騨川公園の令和7年度事業費は予算要求ベース。

※大島きこり公園（小坂）及び馬瀬わかあゆ子育て・保育ステーション（馬瀬）の遊具整備は実施せず、整備時期について再度検討を行う。

4-8 暑さ対策編についての協議の過程

【第3期協議会】

○第1回協議会 期日:令和6年8月9日

- ・第3ステージを延期し、第2ステージに「暑さ対策編」を追加する協議事項の変更について
- ・金山地域の子育て世代の議論を尊重したふれあいパーク整備概要の検討について
- ・下呂地域の拠点公園整備を令和8年度以降に延期することについて
- ・第2ステージ「暑さ対策編」の協議について

○第2回協議会 期日:令和6年12月12日

- ・ふれあいパーク整備概要の報告について
- ・飛騨川公園の暑さ対策の整備方針について
- ・下呂地域での屋内型遊技場の整備方針について
- ・第2ステージ「暑さ対策編」の計画素案の策定

○第3回協議会 期日:令和7年3月3日

- ・第2ステージ「バランス期」の計画の策定

第5章 計画の引き継ぎ

5-1 計画内容の引き継ぎについて

第2ステージ（バランス期）暑さ対策編で策定された計画は、第3ステージに引き継ぎます。引き継がれる内容は4-1公園整備の方針と4-7公園設備の整備です。

4-1 公園整備の方針(再掲)

1. 人口減少社会を迎えるなかで、「持続可能」な公園整備を目指す。
2. 子育て世代のための遊び場を充実する。(遊具の整備)
3. 地域バランスを確保する。
4. 暑さ対策を実施する。(暑さに適応した施設整備)
5. 地域公園の整備の方向性を示す。(管理方法や制度の検討)

4-7 整備の時期(再掲)

【事業計画案】

内訳	R5	R6	R7	R8以降
公園名 (エリア)	飛騨川公園 (萩原)	ふれあいパーク (金山)	飛騨川公園 (萩原)	屋内遊技場 (下呂)
事業費	60,423 千円	48,429 千円	50,295 千円	未定
国県支出金	10,000 千円			
一般財源	50,423 千円	48,429 千円	50,295 千円	未定

※財源はふるさと納税を原資とした基金を使用する。

※ふれあいパークの令和6年度事業費は12月補正予算に計上し、ガバメントクラウドファンディング（GCF）を実施して充当する。

※飛騨川公園の令和7年度事業費は予算要求ベース。

※大島きこり公園（小坂）及び馬瀬わかあゆ子育て・保育ステーション（馬瀬）の遊具整備は実施せず、整備時期について再度検討を行う。

令和6年度 公園緑地整備検討協議会委員（第2ステージ バランス期 暑さ対策編）

	区分	所属・役職等	検討委員氏名	
1	(1)子育て支援 団体の推薦 のあったもの	NPO 法人サン・はぎわら(R5継続委員)	内木 孝之	
2		NPO 法人ふるさと金山(R5継続委員)	金森 亜紀	
3		NPO 法人みらいろ(R5継続委員)	熊崎うらら	会長
4	(2)スポーツ団 体関係者	下呂市スポーツ協会(R5継続委員)	中切 幹男	副会長
5	(3)保育施設保 護者関係者	保護者会推薦者	野村 佳史	
6		保護者会推薦者	加藤 実紅	
7	(4)小学校保護 者関係者	下呂市 PTA 連合会会長:小学校代表(下呂小)	武川 貴久	
8	(6)市長が認め る必要と認める 者	小坂地区(推薦)(R5継続委員)	山中 一将	
9		馬瀬地区(推薦)(R5継続委員)	藤本 星矢	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES



下呂市公園整備計画(バランス期) ～第2ステージ 暑さ対策編～

令和7年3月

下呂市 まちづくり推進部 まちづくり推進課